

県立学校内で感染が確認された場合の対応について

緊急事態宣言対象地域、又はまん延防止等重点措置対象地域における学校は、次の対応を原則とします。

【学級閉鎖】

次のいずれかの状況に該当し、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合。

感染者等の状況			学校 対応	期 間	備 考
感染者	周囲の状況				
	風邪症状	濃厚接触者			
1名	0～1名		状況に応じて 学級閉鎖を判断		学級閉鎖の期間は、 感染の把握状況、感染の拡大 状況、児童生徒等への影響等 を踏まえて判断する。 ※感染判明前2週間以上登校 していない者の発症は除く。
	複数		学級 閉鎖	5～7日 程度が目安	
		複数			
同一学級 で複数					
その他、 設置者が必要と判断した場合					

【学年閉鎖】

複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合。

【学校全体の臨時休業】

複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合。

以上の原則をもとに、学級閉鎖、学年閉鎖、学校全体の臨時休業については、県教育委員会、保健所、学校医と協議し決定いたします。
その場合には、オンライン授業に切り替えることにより、学習活動を継続いたします。